

大学教育学会 第37回（2015年）大会
2015. 6. 6 長崎大学

ラウンドテーブル16
学士課程教育における共通教育の質保証
—評価データの併用と質保証のマネジメント—
まとめ

山田 礼子
同志社大学

ryamada@mail.doshisha.ac.jp

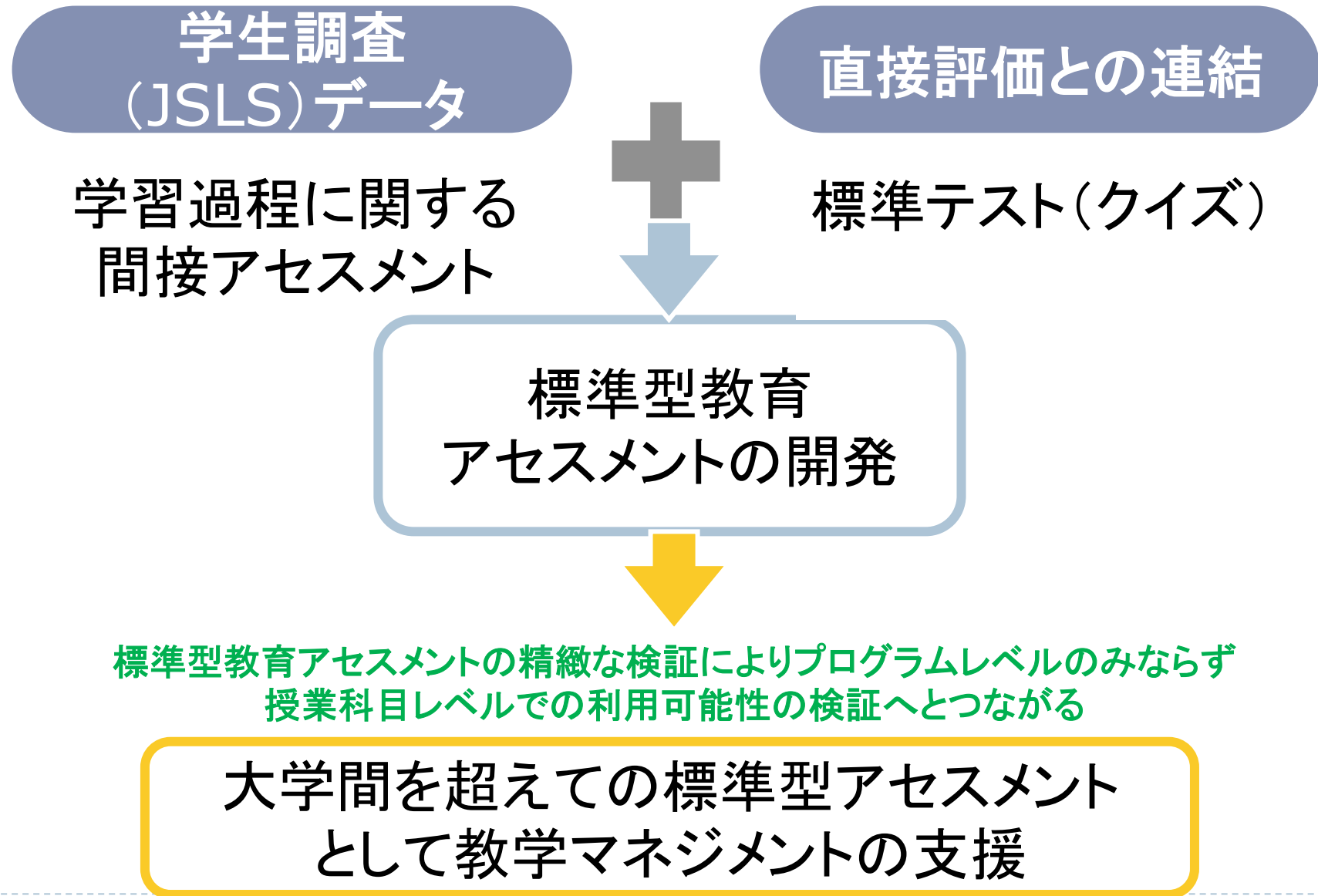
現在の状況と今後の予定

- ▶ サブテーマ1
授業科目レベルでの直接評価
(パフォーマンス評価) + 間接評価
(CLQ)
- ▶ サブテーマ3
標準型 間接評価 (JSLS2013) +
直接評価 (小テスト) の開発
- ▶ サブテーマ1と3の連携
授業科目レベルとプログラムレベル
の統合の模索
- ▶ サブテーマ4
サブテーマ1 を通じてのマネジメン
トの検証



- ▶ サブテーマ1
授業科目レベルでの直接評価
(パフォーマンス評価) + 間接評価
(CLQ) の複数回実施によるデータ収
集を通じての検証⇒安定性
- ▶ サブテーマ3
開発した標準型 間接評価
の精緻な分析と一部成績と間接評価
との併用による検証
- ▶ サブテーマ1と3の連携
レベルの違いにむけての模索
- ▶ サブテーマ4
総まとめに向けてのタイプの
開発

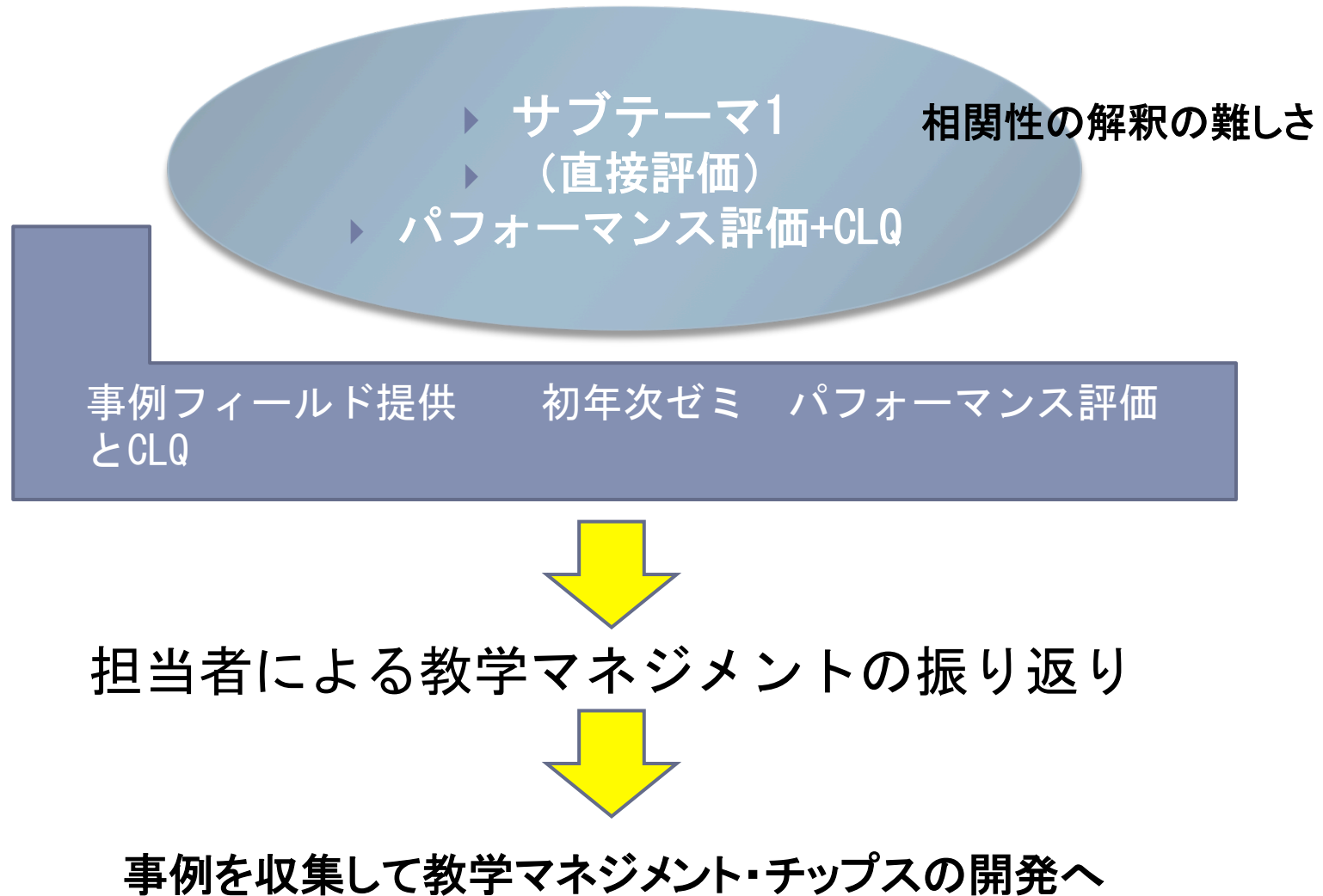
テーマ3の標準型教育アセスメント開発の効果



主なフィールド（直接評価と間接評価）

	サブテーマ1		サブテーマ3		データの マージ
	直接	間接 (LQ)	直接	間接 (SLS)	
名古屋商科大学 初年次セミナー)	○	○			可
同志社大学			—	○	可
千葉大学			—	○	可
立命館大学			—	○	可

サブテーマ4と1の関係



まとめに向けての検討課題

- ▶ 間接評価と直接評価の一致が確実か
解釈の難しさ、測定するものは一致しているのか
- ▶ 標準型教育アセスメントの開発から精緻な分析・測定の安定性へとどう進捗させるか
- ▶ 授業科目レベルとプログラムレベルの学修成果測定の差異をいかに併用するか
- ▶ 組織文化の違いによる教学マネジメントからティップス開発をするために乗り越える課題の把握からティップス開発へ